

太陽通信

No Charity, but a Chance!
～人間としての尊厳が保たれる
社会の実現～

No.292

2013(H25)
8.1

社会福祉法人太陽の家広報誌 <http://www.taiyonoie.or.jp/>

オムロン京都太陽谷垣新社長に聞く

6月13日オムロン京都太陽株式会社の株主総会が同社で行われ、作田久男会長、湯川荘一監査役が退任され、オムロン株式会社取締役会長の立石文雄氏が会長、オムロン株式会社常勤監査役の津田正之氏が監査役に就任しました。また、同社の梶原誠一社長が退任され、谷垣信也社長が就任しました。谷垣新社長に抱負などを伺いました。

1. 社長に就任されて3カ月過ぎましたが、オムロン京都太陽のご感想は?

今年の4月に本社からオムロン京都太陽に異動してきました。やはり新しい職場に異動する時は緊張します。特に、私の場合、生産経験がなかったことや、多くの障がい者が働く職場は初めての経験なので緊張するだろうなと思っていました。しかし、今回の場合はすんなりとなじめたように思います。何と言ってもみんなの元気が嬉しい。元気な挨拶。気軽に話しかけてくれる雰囲気。そのおかげで力まずに自然体で行動できます。

業務に関しては、まだまだ勉強中ですが、27年の歴史で積み上げられてきた実績の上でしっかりと仕組みが回っており、先達の偉大さを感じています。

見学者の多さと多様さは想像以上でした。見学者の関心は、障がい者雇用に関するだけでなく、現場改善の事例研究に非常に多くの方が興味を持っています。特に海外からの見学者は必死に質問をします。その姿勢に共感すると同時に、いろいろと考えさせられること、気づかされることが多く、良い刺激になっています。

2. 今年度の御社の方針や目標は?

今年度の方針は、「オムロン京都太陽に最適な多品種少量生産体制の確立」です。生産機能の多くが中国やアジアへシフトされる中、多品種少量生産に対応できる日本の生産工場としての存在価値をつくらなければなりません。特例子会社であっても、製品のQCDに甘えは許されませんので、積極的に新しい事にチャレンジしていきたいと思っています。

3. 現在、主にどのような製品や業務に取り組んでいるのですか?

タイマヤリレーを接続するソケット、光電センサ、電

源など、オムロンのファクトリーオートメーション機器を生産しています。また家庭用健康機器の一部を生産しており、視覚障がい者向けの音声ガイダンス付の電子体温計も生産しています。この商品は開発段階から当社の社員の意見を反映するなど、ユニバーサルデザインにも貢献しています。



4. オムロン京都太陽は障がいをもつ社員に対して、どのような取り組みをされているのですか?

当社の事業場には、太陽の家の従業員を含めて約160人が働き、うち約120人が障がい者です。

そして、当社の使命は、

- ① 知的・身体的重度障がい者の雇用機会創出
- ② 事業を通じて顧客満足の提供と収益確保
- ③ 障がい者雇用ノウハウを広く社会に提供

であります。

オムロンは「人と機械のベストマッチング」という言葉を企業ステートメントとして使っていますが、当社は、まさにこれを実践しています。私たちは、オムロンの生産技術と働く者の創意工夫で、障がいのある方が働きやすい生産環境作り自らチャレンジしています。具体的には、障がいの種類や程度は一人ひとり異なりますので、各自にあった治工具や簡易自動機を製作し、独創的なものづくりの方法を生み出しています。もちろん、それを使いこなすためには一人ひとりが、それぞれの持ち味を発揮して自己成長をはかることが不可欠であり、教育システムの構築と実践によりそれを支援しています。

5. 今後の抱負は?

先ほど申し上げた当社の使命の「①知的・身体的重度障がい者の雇用機会創出」を実現することが私の抱負です。収益は必要投資ができる程度を維持して、少しでも多くの雇用機会を創出したい。それも、当社だけでは限界があるので、世の中の企業が少しでもその気に(2面に続く)

(1面より)なってくれるように、さまざまな機会に働きかけていきたいと思います。まだまだ青二才のくせに、ちょっとカッコよく言いすぎました。これを自分へのプレッシャーとして、これから勉強して一生懸命頑張ります。どうぞ宜しくお願いします。

6. ご趣味は？

飲みニケーション、トラキチ（これは関西でないと分らない？）、下手なゴルフ、というところです。

プロフィール

京都生まれ(1955年)で京都育ち。オムロン入社後、銀行のATMのソフトウェア設計に携わる。中略、様々な経歴の後、本社スタッフを9年間。2013年4月にオムロン京都太陽に転属。6月13日より現職。

太陽の家への寄付がオムロン株主優待制度に

本年6月20日、オムロン株式会社の第76期定時株主総会が京都駅のホテルグランヴィアで開催され約800人の株主の方が出席しました。総会後、懇談会が行われ、引き続き多くの株主の方が来場されました。会場には株主優待制度の説明ブースも設けられ、オムロングループのヘルスケア商品の優待割引に加えて、太陽の家への寄付も設けられました。

この制度の導入は、本年1月のオムロン取締役会で決定されました。これは、5月にオムロンが創業80周年を迎えたことを記念し、日頃の株主の皆さまのご支援への感謝と、株式投資の魅力を高め、株主の方を増やすことを目的として今年度より始められました。対象となる株主は年度末株主名簿に記載された100株以上を保有する方で、太陽の家へは社会貢献として、100株以上保有の方が2千円、300株以上保有の方が6千円の寄付となっています。

当日、太陽の家のブースにも多くの株主の方に来ていた

きました。説明役はオムロン京都太陽株式会社の谷垣信也社長、京都太陽の家の香月重晴事業・支援課長と私が行いました。株主の皆さまは福祉への関心も高く、「太陽の家はどのような所ですか」「どんな障がい者がいますか」「どのような仕事をされていますか」「オムロンはどのような支援をしているのですか」「高齢者は支援していますか」「国内では京都以外にどこにありますか」等多くの質問を受けました。また、「オムロンが長年障がい者の支援をしていることを知ってうれしい」「知り合いの障がいのある方に太陽の家を紹介したい」といった感想も聞かれました。

株主の皆さまは株主総会当日に優待制度の葉書が配布されており、7月末が締め切りとなっています。多くの方に賛同いただけることが期待されます。

(法人本部人事・広報課 四ッ谷奈津子)



オムロンのヘルスケア商品ブース



太陽の家ブース

サンハウス大手町にコミュニティーサロン開設



「太陽のバル」入口

大分市の中心街にある太陽ビル(大分事業本部)の1階では、「NPO法人ア



シスト・バル・オオイタ」さんが「太陽のバル」というお店を開き、道の駅などで売られている無農薬野菜や加工食品やお弁当などを販売しています。「地域の皆さんに何か役立ちたい。気軽に集まってくつろげる場所を作りたい。」という思いが共通していたこともあって、1階スペースを提供することになりました。7月から毎週火・水曜日(週2回)の10時から19時まで開店しています。日中は高齢者の方々が店内でくつろぎ、夕方は仕事帰りの方が足を止め産直野菜を買っています。「大手町に活気のある場所ができてうれしい」「お茶を飲みながら話ができる場所ができてよかった」と、みなさんに喜ばれています。地域の皆さんが太陽ビルに寄っていただくことで、太陽の家のことをもっとよく知ってもらえる機会にもなりとてもよかったと思います。

(大分事業本部)

イオンカードのデータ入力作業開始(電子科新規作業)

新たな業務拡大にもつながることが期待されるパソコン業務の一環として、三菱商事太陽株式会社様からイオンカードのデータ入力作業をいただき、この5月より電子科で作業を開始しました。今回の入力作業希望者は直営作業所から公募し、電機科・機材科・工芸科から5名、電子科から3名の計8名で作業を行っています。

作業内容は、お客様がカード申し込み時に手書きされた内容を、パソコンデータに置き換えることです。入力する項目

は、申込者の氏名・住所・電話番号(自宅・携帯)・メールアドレス(携帯・パソコン)等で、1件あたり10項目を入力しています。パソコン操作はもちろんです、手書き文字の判別がキーポイントになります。数字だけの電話番号入力では「0」なのか「b」なのか悩み、それにアルファベットが加わったメールアドレスになると、さらに似ている字体が多くなり、想像力を磨かまながら入力しています。

中には0(数字のゼロ)は「〇」、英字のオーは「O」と分かりやすく書く人もいますし、「門=門」や「第=第」等の略字を使う人もいます。現在は判別を早くするために、略字リストや、似ていて間違いやすい漢字のリストを作成しているところです。これにより全員が同じ判断基準となり正確で素早い入力ができると思います。

次の漢字の違いを一目で分かった方は、この作業に向いていると思います。自分もやってみたいと思う方は、事業課までご連絡してください。

高崎紘治郎さん 高崎紘治朗さん
濱邊 恵太さん 濱邊 恵太さん

(別府事業本部 事業課 五嶋一雄)



総合作業科の開始

7月1日より、京都太陽の家にて新たなB型事業として総合作業科の作業を開始しました。

以前、入所授産の居室として利用していた宿舎棟西側の1階部分を改修し、総合作業科の作業場が完成しました。シャッターによる開閉が可能で、明るく開放的な空間となっています。7月1日より2名の利用者が箱詰め作業を開始、7月8日より新規利用者がもう1名増えて合計3名で作業を行っています。作業時間は10時～15時をコアタイムとして、利用者それぞれの状況に合わせて時間変更をすることができます。10時から15時での利用の場合は竹田駅や桂駅への送迎支援を利用することもできます。高齢の方や障がい

の重度な方でも利用できるよう負担の少ない作業を提供していければと考えています。近隣の支援学校等からの問い合わせも多く、今後利用希望が増えていくものと期待されています。(京都太陽の家 事業・支援課)



F M大分より取材

7月24日FM大分より「ゆうわ」の取材を受けました。内容は主に日出事業本部で行われている事業についてでした。障がいのある方がどのような生活をして生活を楽しんでいるのか、どのような支援を受けているかなどのインタビューを受けました。これは、毎週火曜日午後3時から放送されている「ひじサンラジ」という番組で、インタビューは8月13日に5分程度紹介されます。これは、日出町でのイベントやグルメ、観光情報はもちろん、福祉や食育、健康情報を紹介していて、地元密着のラジオ番組です。



(日出事業本部 佐藤 篤)

★第29回愛知太陽の家むぎの会納涼大会★

愛知の納涼大会は7月20日に開催しました。今年も周辺地域からたくさんの方々にご来場いただき、開演時にご多忙の中駆けつけてくださった地元選挙区の今枝宗一郎衆議院議員と稲葉正吉蒲郡市長にご出席いただきました。

ステージイベントでは軽快なよさこい踊り、生演奏の歌謡ステージ、子供たちが興味津々なマジック、若さあふれるチアダンスとみなさんに楽しんでいただけたことと思います。大会が無事盛会のうちに終わることができ、ご支援いただいたみなさまに感謝いたします。

(愛知 むぎの会会長 近藤 豊)



楽しく運動、笑顔いっぱい!!

★元気づくりセンターさんぽっふ亀川 利用者募集★ (介護予防通所介護事業所)

元気づくりセンターさんぽっふ亀川は高齢者向けのデイサービスです。月、水、金曜日の午前中9時15分から11時30分まで筋力トレーニング、有酸素運動、バランストレーニング、軽スポーツなど機能訓練・リハビリに特化したサービスを提供しています。このサービスを受けるには、介護保険の要支援1か2の認定を受ける必要があります。利用料金は以下の通りです。

支援度別	利用回数	料金/月
要支援1	1回/週	2,368円
要支援2	2回/週	4,514円

詳しくは太陽の家 健康推進課(担当:服部)まで。
Tel:0977(66)0277(内線1280)



ご自宅までの送迎も行っています♪♪